

4. 社会保障制度の見直しについて具体的ビジョンを。

回答

安倍内閣は社会保障の見直しと称して、その切り捨てをすすめています。これに反対して、社会保障の充実をはかります。年金削減をストップし、低すぎる年金の底上げをはかり、最低保障年金制度の確立をめざします。国の責任で、高すぎる医療費の窓口負担や国民健康保険料を軽減し、医師・看護師の計画的増員等で「医療崩壊」を打開します。国民皆保険制度を守り拡充します。特別養護老人ホームの待機者をなくし、介護保険料・利用料の負担減免、介護・福祉労働者の労働条件を改善します。障害者の福祉・医療の「応益負担」を撤廃し、無料化をすすめます。保護費削減や申請の「門前払い」など生活保護の切り捨てをやめさせ、改善・強化します。社会保障充実に必要な財源は、設問3の回答で述べている通りです。

5. 軍事によらない平和の実現について

回答

集団的自衛権の行使容認は日本を「戦争する国」につくりかえようとするもので許せません。日本をめぐるアジアの平和と安定にとって、もっぱら軍事に頼るのではなく、憲法9条の精神に立った平和の外交戦略こそ必要です。このため紛争を話し合いで解決する平和の枠組み（北東アジア平和協力構想）をつくることを提唱します。すでにASEAN（東南アジア諸国連合）の国々では、東南アジア友好協力条約ができ機能しています。